

石峰&抱月のふるさと『地域まるごと博物館』

# 波佐ネット通信

No. 97 2018.2.5

地域研究センター協議会

【参加団体】

西中国山地民具を守る会  
波佐文化協会  
能海寛研究会  
ほたる湯館G・ゴルフ場

## 文化財防火デーに伴う消防総合訓練

毎年1月26日が文化財防火デー(法隆寺の金堂(国宝)が火災で焼失した日)をと定められています。金城資料館では、自衛消防隊を組織して、毎年、この時期に消防訓練を行っています。1月27日、浜田市東部消防署金城出張所員(小林、上原)2名の指導の下、消防総合訓練(通報・避難・誘導・消火)を行いました。

## 資料館ガイド研修会

金城資料館の指定管理者である西中国山地民具を守る会では、5月から企画展『能海寛生誕150年記念』を実施するため、能海の業績と生涯を学び、事前のガイド研修会を実施しました。



## 総合的な学習／社会科の学習で金城資料館へ

2月2日、雲城小学校3年生(25名)が、「民具をみることで、昔の人々の生活を知り、先人の工夫や努力について学ぶ学習」で金城資料館へ来館されました。いろりの間で、4名の代表が横座、瀬戸座、沖座、下尻座に配置し、それぞれの約束事、機能について体験しました。昔は、全農家が紙漉きを行っていたこと。各家庭で家族の衣類を主婦が機織りをしていたこと。江戸時代は、紙布の作業着が大半を占めていたこと。たたら製鉄の盛んだった時は、農家で馬を飼育して、砂鉄や銑鉄を運搬して駄賃収入を得ていたこと。たたら製鉄が消滅してからは、炭焼きで農家収入を得ていたことなどを学習しました。



第43回文化講演会 3月11日(日) 午前10時～正午 会場 ときわ会館(波佐公民館)  
演題 『波佐一本松城と陣城遺構について』 講師 山根正明氏(島根県中世史研究会世話人)  
主催者 西中国山地民具を守る会 入場料 無料